

小林市監査委員告示第2号

地方自治法第199条第1項及び第4項の規定に基づき、定期監査（工事監査）を実施したので、同条第9項の規定により、その結果を公表する。

令和8年1月16日

小林市監査委員 畠中 光男  
小林市監査委員 押領司 剛

# 定期監査（工事）結果報告

## 1. 監査の種類

地方自治法第 199 条第 1 項及び第 4 項の規定に基づく監査（工事監査）

## 2. 監査を実施した監査委員

小林市監査委員 畠中 光男

小林市監査委員 押領司 剛

## 3. 監査の対象工事

令和 7 年度における 1 件 500 万円以上の工事請負契約のうち、土木等工事の中から、内容・進捗状況等を勘案し、以下の 3 件を抽出した。

(単位：円)

No.	工事名	工期	担当課	契約金額	契約者名	会計
1	令和 6 年度（繰越）・令和 7 年度（現年） 河川等整備事業 三松川 河川改良工事（6 工区）	(自)R7.7.22 (至)R8.2.27	経済建設部 建設課	34,210,000	株式会社 八重尾組	一般 繰越明許 現年度
2	令和 7 年度 市単独整備事業 東麓・石瀬戸線 道路改良工事	(自)R7.6.17 (至)R8.1.30	野尻庁舎 地域振興課	29,700,000	株式会社 淵上組	一般 現年度
3	令和 7 年度 上水道事業 道路改良工事に伴う配水管布設替工事 (市道一本杉・川無線)	(自)R7.8.5 (至)R8.3.13	上下水道局 上下水道課	7,100,302	株式会社 ヤマグチ	水道事業 現年度

<工期及び契約金額は書類提出日（令和 7 年 10 月 15 日）現在の状況>

## 4. 監査の実施期間

令和 7 年 10 月 15 日から令和 8 年 1 月 13 日まで

(工事技術調査の日程) 書類確認及び審査 令和 7 年 11 月 19 日

施工状況調査及び講評 令和 7 年 11 月 20 日

## 5. 監査の着眼点

主な着眼点は、次のとおりである。

- (1) 調査及び設計業務は、適切に行われているか。
- (2) 設計及び工法は、妥当かつ現場の状況に適合しているか。
- (3) 特記仕様書は、的確に作成されているか。
- (4) 積算は、適切に行われているか。また、その算出根拠は明確か。
- (5) 入札及び契約は、適正に行われているか。
- (6) 施工体制及び施工計画書の記載内容は適切か。
- (7) 施工管理は、適切に行われているか。

## 6. 監査の方法

監査に当たっては、工事技術に関する専門的知識を必要とするため、公益社団法人 大阪技術振興協会と工事技術調査業務委託契約を締結し、技術士による工事技術調査を実施した。

## 7. 監査の結果

監査の対象工事の書類及び現場を監査した結果、おおむね良好と認められた。

しかし、一部の工事において、設計から10年以上経過しているものが見られたため、必要ならば設計内容の再確認や変更詳細設計等を検討されたい。

所管課においては、内容を十分に検討の上、今後の適正な対応に努められたい。

なお、技術士から提出された工事技術調査結果報告書は別添のとおりである。

令和7年度  
小林市工事技術調査結果報告書

令和7年12月19日

公益社団法人 大阪技術振興協会  
技術士 印藤栄次 (建設、総合技術監理部門)

1. 調査実施日：令和7年11月19日(水)～20日(木)

2. 調査場所：小林市役所会議室及び当該工事現場

3. 調査立会者：

小林市監査委員	畠中 光男
小林市監査委員	押領司 剛
監査委員事務局	
局長	園田 恵津子
主幹	森 文
書記	山崎 陽季
書記	安田 恵里沙
書記	入枝 夢里

4. 調査対象工事

- 令和6年度(繰越)・令和7年度(現年) 河川等整備事業 三松川 河川改良工事(6工区)
- 令和7年度 市単独整備事業 東麓・石瀬戸線 道路改良工事
- 令和7年度 上水道事業 道路改良工事に伴う配水管布設替工事(市道一本杉・川無線)

## I. 調査の範囲及び方法

工事技術調査は、技術的観点からの調査を主眼としているため、施工中の工事の中から3件を抽出し、設計図書等の審査及び実地調査を関係職員の説明を受けて実施した。調査は、①調査、設計業務の妥当性 ②設計、工法の妥当性 ③特記仕様書・設計図面の記載内容 ④積算の根拠・妥当性 ⑤入札・契約内容 ⑥施工体制、施工計画書の記載内容 ⑦品質管理、安全管理を含む施工管理等について3E（経済性、効率性、有効性）の視点から実施した。

調査対象工事一覧

番号	工事名	契約日	工期	契約金額 (円)	担当部署
1	令和6年度(繰越)・令和7年度(現年) 河川等整備事業 三松川 河川改良工事(6工区)	令和7年7月22日	(自) 令和7年7月22日 (至) 令和8年2月27日	34,210,000	経済建設部 建設課
2	令和7年度市単独整備事業 東麓・石瀬戸線 道路改良工事	令和7年6月17日	(自) 令和7年6月17日 (至) 令和8年1月30日	29,700,000	野尻庁舎 地域振興課
3	令和7年度 上水道事業 道路改良工事に伴う配水管布設替工事 (市道一本杉・川無線)	令和7年8月5日	(自) 令和7年8月5日 (至) 令和8年3月13日	7,100,302	上下水道局 上下水道課

## II. 調査結果

1, 令和6年度(繰越)・令和7年度(現年) 河川等整備事業 三松川 河川改良工事(6工区)

### (1) 工事内容説明者

経済建設部 建設課

主任技師

主幹

立 会

経済建設部 建設課 技術検査グループ

主幹

### (2) 工事概要

1) 工事場所 小林市堤字三本松地内

2) 背景と工事内容

異常豪雨や宅地造成等により、国道221号線や市道の排水が増加し、流末である当該河川では通水断面が不足している。国道221号線では冠水が発生しており、今後は住宅等の浸水や河川護岸の崩壊が懸念されるため、河川改良を行うことで冠水の緩和や災害の拡大防止を図っている。

工事数量

施工延長 L=606.6m (No. 41+8.400~No. 71+15.000)

掘削工 V=2,249m<sup>3</sup> 植生マット工 A=291m<sup>2</sup>

盛土工 V=271m<sup>3</sup> 締切排水工 N=1箇所

軽量法砕工 A=342m<sup>2</sup> 大型土のう工 N=10袋

- 3) 設計業務委託 下沖測量 有限会社  
工期:令和4年8月9日～令和5年3月16日
- 4) 工事監理 直営
- 5) 工事請負会社 株式会社 八重尾組
- 6) 工期 令和7年7月22日～令和8年2月27日
- 7) 契約日 令和7年7月22日
- 8) 事業費 予定価格 34,355,000 円  
請負額 34,210,000 円  
落札率 99.58%  
最低制限価格 30,840,483 円
- 9) 工事進捗率 51% (10月末)

### (3) 工事技術調査の所見

工事関係書類の審査及び現場調査を実施した。提示された書類を調査し、疑問点は関係者に質問するとともに、当該工事の調査・設計、特記仕様書、積算、契約、施工管理、監理監督、設計変更及び現場施工の各段階における技術的事項の実施状況について調査した。その結果、設計業務特記仕様書、設計報告書、施工計画書の記載、現場管理体制等について改善すべき点が見られた。各段階における技術調査内容、所見、意見等は各項目に示すとおりである。

### (4) 工事着手前における技術的調査事項

#### 1) 調査・設計

##### ①調査・設計

設計業務は、「令和4年度河川等整備事業三松川測量設計業務委託」として下沖測量有限会社が実施している。業務委託の入札は、指名競争入札（7者）により適切に実施されている。

設計業務特記仕様書は、測量業務特記仕様書と設計業務特記仕様書に分けて作成されている。特記仕様書では、測量業務の管理技術者の資格要件は記載されているが、設計業務の資格要件が明示されていない。このため、当該測量設計業務の管理技術者には測量士が配置されている。測量・設計業務等の複合業務を実施する場合は、小林市の規定に従って、設計業務の有資格者を配置すべきである。特記仕様書で資格要件を指示し、設計業務での品質確保を図られたい。

設計業務計画書は、共通仕様書に従って作成されているが、記載内容が測量業務中心となっている。設計業務内容について詳細な業務実施計画を作成し、設計業務を実施するよう指導されたい。また、使用する図書及び基準は、共通仕様書類しか記載されていない。設計業務は、最新の基準書類に従って設計することが設計業務共通仕様書で定められていることから、適切な基準書名、発行年度等を記載し、受発注者間で確認して業務を実施されたい。

参照：「管理技術者及び照査技術者の選任及び資格要件等の運用について」

(小林市 令和5年8月1日)

「設計業務共通仕様書」(1-2-1) (宮崎県県土整備部 平成28年)

当該設計の河川改良計画は、既設水路（U型水路）の取換えを主体に行っている。また、改良工事に伴う管理道路や切土工事等も計画されている。管理用道路の法面工は、①現場吹付法

砕工②簡易法砕ソイルクリート工法③現場打軽量法砕工を比較検討し、施工性、経済性から現場打軽量法砕工を採用し、一部では植生マット工を採用するなど適切な工法検討が行われている。水路については、降雨時の流出量に対する通水断面の検討が行われているが、構造型式については比較検討が行われていない。コスト縮減等を考慮した水路構造（嵩上げ、補修、柵渠等）の比較を適切に行うべきである。また、当該水路は2箇所のため池に近接して施工する計画がされている。施工時には、地形状況から堤防欠壊や漏水の危険性が想定される。設計業務では、水路の位置変更や施工時の土留工の設置等について、現地状況を加味した比較検討を実施しておく必要がある。設計図面は、平面図、横断面図、水路構造図等が作成されているが、ため池、出入口、田畑状況についても詳細な記載が必要である。

当該水路工事は、数年にわたり複数工事で施工されることが想定される。このような事業では、設計業務時に実施工を想定した施工計画書（工事全体の施工順序、工事用道路計画、土留工等の仮設計画等）を作成し、全体事業費の把握と無駄のない工事順序等について適切に検討されたい。

設計は下記の基準・指針等を使用している。

土木工事設計要領（第Ⅰ編）	令和元年7月	九州地方整備局
土木工事設計要領（第Ⅱ編）	平成29年10月	九州地方整備局
土木工事設計要領（第Ⅲ編）	平成28年4月	九州地方整備局
道路土工要綱	平成21年6月	（公社）日本道路協会
道路土工カルバート工指針	平成22年3月	（公社）日本道路協会
道路土工切土工・斜面安定工指針	平成21年6月	（公社）日本道路協会
河川事業の手引き	平成16年4月	宮崎県土木部河川課
その他 基準・指針等		

## ②特記仕様書

特記仕様書は、総則、施工条件、積算関係の3章に分けて記載されている。総則では、適用基準書類、工事工程の共有、再生資源利用計画等について記載している。施工条件では、工程関係、用地関係、安全対策、建設副産物等について記載し、積算関係見積単価、歩掛等についても記載されている。特記仕様書は適切な内容で作成されている。

## 2) 積算

### ①積算基準書・単価表

本工事の積算は、国土交通省の「土木工事標準積算基準書 令和6年度版」を使用し、歩掛は令和7年4月1日、単価は令和7年6月1日を適用し、道路改良工事として実施している。特別調査等は実施していない。現場打軽量法砕工は、3社より見積徴取し、規定に従って単価決定している。

## 3) 入札・契約

### ①入札状況

本工事は、令和7年6月24日に公示され、令和7年7月9日に入札が行われている。見積期間は建設業法の基準（10日以上）を遵守している。入札は一般競争入札で実施され、2者が応札し、株式会社八重尾組が99.58%で落札している。予定価格は事前公表されてい

る。

## ②契約書及び関係書類

請負契約書は、規定に従い適正に作成・整理されている。また、工事カルテ登録、建退共加入等も適切に実施されている。

履行保証関係は下記の会社で行っていることを確認した。

・履行保証会社：損害保険ジャパン株式会社

## (5) 工事着手後における技術的調査事項

### 1) 施工体制

施工体制は、1級土木施工管理技士の有資格者を配置している。施工体制台帳は提出され、施工体系図には下請会社（2社）が記載されているが、施工体制台帳の一部が不足している。適切な内容で書類を提出するよう指導されたい。

### 2) 施工計画・施工管理

受注者が実施する着手前の工事測量は、実施後報告書が提出されている。設計照査は、実施後2点の質疑が提出され、適切に回答が行われている。

#### ①施工計画書

施工計画書は、「宮崎県土木工事施工管理の統一事項第2編の「2. 施工計画書」」に従い作成されている。施工方法は、工種ごとの施工手順・方法が略図、要領図、写真等を使用して適切に記載されている。作業に必要な有資格者（伐採工事、不整地運搬車、法面作業）等の配置については、適切に記載するよう指導されたい。緊急時の連絡体制等については、適切に記載されている。施工管理では、出来形管理の社内基準値を80%と定めるなど適切な計画がされている。安全管理計画は詳細に記載されているが、安全管理体制で会社の代表者が安全衛生推進者となっている。現場従事者の中から適切に配置を行うよう指導されたい。施工計画書にページが記載されていないため、見づらい計画書となっている。目次に整合するページを記載して、活用しやすい施工計画書とされたい。

#### ②工程管理

技術調査時点では80%の進捗であり、工程管理は適切に行われていると判断される。

#### ③品質管理・出来形管理

施工管理では、使用材料について品質規格証、カタログ、配合計算書等を添付して提出し、確認を受けて使用している。吹付モルタルの配合試験等は、今後実施する計画であった。

#### ④安全管理・環境管理

現場の安全管理等を適切に実施している。

### 3) 監理監督

施工指示、立会業務等を適切に実施している。

## (6) 付加価値を向上させる提案

水路の管理用道路を先行施工し、工事用道路として使用しているが、今後施工する水路施工時に完成部分が再掘削される懸念がある。水路の施工順序や工事用道路の使用方法を十分検討し、手戻り施工等が生じないように、今後の施工計画を立案されたい。また、ため池周辺の

施工に関しては、ため池の機能保全と施工中の安全が確保できるよう施工方法を再検討されたい。

### (7) 現場調査

現場は切土・盛土工が完了し、法面工の施工中であった。今後は吹付工等を施工する段階であった。管理用道路部分は置換工が完了している状況である。全体の施工状況は良好である。

今後は水路工事等が発注・施工されるとのことであるが、今後工事では、水路部分の通路、渡り架橋等については、安全衛生規則等に従い、適切な構造の設備を設置されたい。



切土状況



現況水路・ため池



管理用道路

## 2, 令和7年度 市単独整備事業 東麓・石瀬戸線 道路改良工事

### (1) 工事内容説明者

野尻庁舎 地域振興課

主任技師

主幹

立 会

経済建設部 建設課 技術検査グループ

主幹

### (2) 工事概要

1) 工事場所 小林市野尻町東麓字大平山地内

2) 背景と工事内容

当該路線は、災害時の避難路として使用されているが、豪雨や台風等の異常気象時に崩土・倒木により通行止めを余儀なくされ、孤立の恐れがある。このため、地域の暮らしを守ることを目的に道路改良工事を行い、安全安心な道路を整備するものである。また、国道268号の有事の際には、緊急輸送道路として、物流や医療を支える道路交通ネットワークとして期待できる道路整備である。

#### 工事数量

施工延長	L=130.0m
土工	V=2,200m <sup>3</sup>
法面工	A=549 m <sup>2</sup>
排水工（小段排水工）	L=41.9m
（縦排水工）	L=6.1m

3) 設計業務委託 株式会社 宮崎産業開発

工期：平成25年10月8日～平成26年3月25日

地質調査業務委託 株式会社 宮崎産業開発

工期：平成26年9月30日～平成27年3月13日

残土処分場測量設計 有限会社 相牟田測量事務所

4) 工事監理 直営

5) 工事請負会社 株式会社 淵上組

6) 工 期 令和7年6月17日～令和8年1月30日

7) 契約日 令和7年6月17日

8) 事業費 予定価格 30,000,000円  
請負額 29,700,000円  
落札率 99.00%  
最低制限価格 24,501,818円

9) 工事進捗率 58.8% (10月末)

### (3) 工事技術調査の所見

工事関係書類審査及び現場調査を実施した。提示された書類を調査し、疑問点は関係者に質問するとともに、当該工事の調査・設計、特記仕様書・設計図面、積算、契約、施工管理、監理監督、設計変更及び現場施工の各段階における技術的事項の実施状況について調査した。その結果、設計業務、業務計画書、設計報告書、残土処分場測量設計業務等において注意すべき点がみられた。各段階における調査内容・所見、意見・指導事項等は各項目に示すとおりである。

### (4) 工事着手前における技術的調査事項

#### 1) 調査・設計

##### ①調査・設計

当該工事の道路改良部分は、令和4年度工事技術調査対象工事「令和4年度 社会資本整備総合交付金事業 東麓・石瀬戸線道路改良工事2工区」で調査を行った設計成果品を使用して工事を行っている。そのため、今回は設計成果品の詳細調査は実施していない。なお、令和4年度の技術調査で設計関係での考慮すべき事項として下記の点が報告されている。

- ・事前に詳細な地質調査を実施し、調査結果を詳細設計に反映されたい。
- ・最新の指針・基準類を明記し、これらに基づき設計業務を行われたい。
- ・設計照査業務時の指示事項、対応内容を明記されたい。
- ・設計図面に地質調査内容を記載されたい。

当該設計は平成26年に完了しており、11年が経過しているため、適用基準書類の変更等が実施されている可能性がある。今後も工事が継続することから、主要構造物については設計内容を再確認し、必要な場合は変更詳細設計等を実施されたい。

今回工事を実施している牟田原残土処分場の測量設計は、有限会社相牟田測量事務所が実施している。測量設計業務では、地形測量、周辺調査を行い、平面図、縦横断図を作成して搬入土の盛土計画、排水路設計を実施している。排水工としては、基盤排水工、暗渠排水工等が設計されているが、埋設管の安全性や計画排水路の通水断面の妥当性等が検討されていない。また、完成時の排水計画についても流域を考慮した排水路としての検討が必要である。長期間での複数事業者による残土処理場の使用となるため、施工中の排水計画についても検討が必要である。完成時の排水計画及び盛土の施工順序・盛土方法を考慮した施工中の排水計画等について再検討をされたい。

当該測量設計業務の管理技術者には、測量士が配置されている。設計業務を伴う測量業務の場合は、小林市の規定に従って、設計業務の有資格者を適切に配置し、現場状況を考慮した適切な設計を行うよう指導されたい。

参照：「管理技術者及び照査技術者の選任及び資格要件等の運用について」

(小林市 令和5年8月1日)

##### ②特記仕様書

特記仕様書は、雛形に従い総則、施工条件、積算関係の3章に分けて作成されている。適用仕様書類、工事書類簡素化、工事工程の共有、コンクリート構造物におけるスランプ値の設定等が記載されている。また、施工条件では、工程関係、作業時間規制、安全対策関係、

建設副産物関係、残土処分場の施工条件等について記載されている。特記仕様書は、必要事項が記載された適切な内容で作成されている。

## 2) 積算

### ①積算基準書・単価表

積算は、国土交通省の「土木工事標準積算基準書 令和 6 年度版」を使用している。歩掛は令和 7 年 4 月 1 日、単価は令和 7 年 4 月 1 日を適用し、諸経費の工種区分を道路改良工事として適切に実施している。特別調査した歩掛、資材等はない。仮排水管は当初支給材としていたが、購入材として変更を行っている。

## 3) 入札・契約

### ①入札状況

本工事は、令和 7 年 5 月 20 日に公示され、令和 7 年 6 月 4 日に入札が行われている。見積期間は建設業法の基準（10 日以上）を遵守している。入札は一般競争入札で実施され、3 者が応札し、株式会社淵上組が 99.0%で落札している。予定価格は事前公表されている。

### ②契約書及び関係書類

請負契約書は規定に従い適正に作成・整理され、コリンズ登録、建退共加入等が適切に行われている。

履行保証関係は下記の会社で行っていることを確認した。

・履行保証会社：損害保険ジャパン株式会社

## (5) 工事着手後における技術的調査事項

### 1) 施工体制

施工体制は主任技術者に 1 級土木施工管理技士を配置している。

### 2) 施工計画・施工管理

受注者が実施する設計図書の照査（土木工事共通仕様書 1-1-3：設計図書の照査等：2）、工事着手後直ちに実施する工事測量（土木工事共通仕様書 1-1-37：工事測量）は、実施後報告書が適切に提出されている。

#### ①施工計画書

施工計画書は、「土木工事共通仕様書」1-1-4：施工計画書の規定、「宮崎県土木工事施工管理の統一事項第 2 編の「2. 施工計画書」」に従って工種ごとの施工方法が記載されている。施工方法は施工フローに従い、施工手順等を記載している。残土処分場の排水工事及び地山中段での切土工事が主体のため、排水管設置、暗渠排水工施工、切土方法等について模式図等を挿入し、施工順序、施工要領等を適切に記載した計画書とされたい。また、残土処理場の工事では、安全な運行が確保できる工事用道路計画を立案計画されたい。

施工管理計画では、工程管理では 10%遅延した場合を、フォローアップ対象として管理している。出来形管理では、社内規格値を規格値の 80%に設定して管理計画を作成している。適切な管理姿勢である。段階確認、写真管理計画、安全管理計画、緊急時の体制等は適切に記載されている。

## ②工程管理

適切に工程管理が行われていたと推測される。

## ③品質管理・出来形管理

使用材料は、品質規格証明書、配合報告書、カタログ等を添付して提出し、確認を受けて使用している。施工状況写真等は適切に整理されている。

## ④安全管理・環境管理

安全管理計画は、安全管理活動、安全教育・訓練計画、緊急時の体制等を詳細に定めている。適切な安全管理が行われていると推測される。工事作業所災害防止協議会兼施工体系図と施工計画書の安全衛生管理組織図と表記が異なっている。施工計画書作成の手引き等に従った適切な表記とされたい。

参照：宮崎県土木工事施工管理の統一事項第2編「2. 施工計画書」2-4-9  
安全管理計画 安全管理組織表 (P2-2-18)

## 3) 監理監督

地元協議、施工指示等を適切に行っている。

### (6) 付加価値を向上させる提案

長期間の複数事業者による残土処理が計画されている。盛土計画、搬入路計画、残土処理中の排水計画等を詳細に計画し、施工中の降雨対策、安全対策及び品質管理方法を共有して適切な管理を行われたい。また、近年の降雨状況を考慮し、法面に配置する排水柵等は跳水による斜面崩壊を防止するよう工夫をされたい。

### (7) 現場調査

道路部分の切土工事は、調査時点では未着手であった。残土処分場は盛土下部の暗渠排水、ふとん籠等の施工中であった。工事は計画的に行われているが、流末排水路が未整備となっている。盛土の進捗後は施工が困難となるため、流末構造物の施工を早急に実施されたい。工事用道路勾配が急峻であり、運搬車両等の事故が懸念される。工事用道路の設置方法等については、十分な検討と安全対策を行われたい。



残土処理場全景



排水工施工状況

### 3, 令和7年度 上水道事業 道路改良工事に伴う配水管布設替工事（市道一本杉・川無線）

#### (1) 工事内容説明者

上下水道局 上下水道課  
技師補  
主幹

#### 立 会

経済建設部 建設課 技術検査グループ  
主幹

#### (2) 工事概要

1) 工事場所 小林市堤字八幡原地内

2) 背景と工事内容

既設管が硬質ポリ塩化ビニル管で脆弱であるため、布設替えにより耐震性を高め、安定的な給水を行うとともに、漏水を未然に防ぐ目的で工事を実施している。

#### 工事数量

施工延長	L=127.0m
配管延長	L=127.5m
仕切弁設置工	N=3 基
給水取出	N=4 箇所

3) 設計業務委託 直営

4) 工事監理 直営

5) 工事請負会社 株式会社 ヤマグチ

6) 工期 令和7年8月5日～令和8年3月13日

7) 契約日 令和7年8月5日

8) 事業費 予定価格 7,898,000 円  
請負額 7,100,302 円  
落札率 89.9%  
最低制限価格 6,372,967 円

9) 工事進捗率 65% (10月末)

#### (3) 工事技術調査の所見

工事関係書類審査及び現場調査を実施した。提示された書類を調査し、疑問点は関係者に質問するとともに、当該工事の調査・設計、特記仕様書、積算、契約、施工管理、監理監督、設計変更及び現場施工の各段階における技術的事項の実施状況について調査した。その結果、設計業務等で注意する点はあるが、概ね適切な内容であった。各段階における技術調査内容、所見、意見・指導事項等は各項目に示すとおりである。

#### (4) 工事着手前における技術的調査事項

1) 調査・設計

##### ①調査・設計

当該区間は、道路改良工事が実施される区間で、上水道管の老朽化対策、埋設管の整理統

合を目的に実施している。既設管の硬質ポリ塩化ビニル管は脆弱であるため、布設替えでは耐震化工法を採用し、ポリエチレン管（融着接合）φ75mmの耐震管を採用している。施工方法、施工時期については建設課の道路改良に合わせて実施し、土工、舗装工のコスト縮減を図っている。また、切管調書を作成することで配管材料の無駄を抑制するなど工夫を行っており、適切な対応である。

当設計業務は、担当課の直営で実施している。設計時には次の基準・指針等を使用している。

水道施設維持管理指針 2016	(公社) 日本水道協会
令和 6 年度水道事業実務必携	全国簡易水道協議会
水道施設設計指針 2012	(公社) 日本水道協会
水道施設耐震工法指針・解説 2009 年版	(公社) 日本水道協会

なお、上記「水道施設設計指針」は 2024 年版が発行されている。最新版の指針を取り揃え、設計業務を実施されたい。事前調査、使用管材の選定、施工方法等で十分な検討が行われており、本設計は適切な設計が行われていると判断される。

## ②特記仕様書

特記仕様書は、総則、施工条件、積算の 3 章に分けて記載されている。総則では契約関係事項、再生資源利用計画、コンクリート構造物のスランプ値の設定等が明示されている。施工条件では、工程関係、安全対策関係（交通誘導員）、建設副産物関係等が記載されている。積算関係では見積単価及び歩掛の記載方法が記載され、主任技術者要件についても適切に記載されている。記載内容に過不足はなく、適切な内容の特記仕様書が作成されている。

## 2) 積算

### ①積算基準書・単価表

積算は、全国簡易水道協議会の「令和 6 改訂版水道事業実務必携（令和 6 年 10 月 15 日）」を使用して行っている。単価は令和 7 年 6 月 1 日を採用している。諸経費工種は、開削工事及び小口径推進工事等として適切に積算されている。資材単価は、年度初めに一括で徴取している資材単価を使用している。積算は適切に行われていると判断される。

## 3) 入札・契約

### ①入札状況

本工事は令和 7 年 7 月 11 日に公示され、令和 7 年 7 月 30 日に入札が行われている。見積期間は建設業法の基準（10 日間以上）を遵守している。入札は指名競争入札で実施され、6 者が指名され 5 者が応札し、株式会社ヤマグチが 89.9%で落札している。予定価格は事前公表されている。

### ②契約書及び関係書類

請負契約書は、規定に従い適正に作成・整理されている。また、工事カルテ登録、建退共加入も適切に行われている。

履行保証関係は下記の会社で行っていることを確認した。

- ・履行保証会社：損害保険ジャパン株式会社

## (5) 工事着手後における技術的調査事項

### 1) 施工体制

施工体制では、主任技術者に水道施設工事、給水装置工事主任技術者の有資格者を適切に配置している。施工体制台帳が提出され、建設業許可、社会保険加入が確認されている。

### 2) 施工計画・施工管理

工事着手後実施する工事測量は、実施後、報告書が提出されている。受注者による設計照査の報告書が提出されていない。実施済み報告の提出を指導されたい。

#### ①施工計画書

施工計画書は、「土木工事共通仕様書」、「宮崎県土木工事施工管理の統一事項第2編の「2. 施工計画書」」に従い作成されている。施工方法は、施工順序に従って記載されている。しかし、文章主体の表現となっており、現場状況、機械配置等を加味した表現となっていない。施工計画書は現場施工の基準となるため、施工箇所の詳細、一般者への対策、通行車両への安全対策等について図面等を挿入して具体的な記載を行うよう指導されたい。

施工管理計画では、工程管理、品質管理基準、出来形管理基準、写真管理計画、段階確認事項等が適切に記載されている。安全管理計画では、安全管理事項、安全訓練計画が適切に記載され、管理体制も工事規模に応じた適切な体制となっている。また、緊急時の体制、環境対策が適切に記載されている。

#### ②工程管理

工事は95%（調査時点）進捗しており、特に問題点はない。適切な管理が行われていると推測される。

#### ③品質管理、出来形管理

使用材料は、特記仕様書に従い「工事材料使用願」を提出し、確認を受けて使用している。また、出来形管理、品質管理は工事の進捗に合わせて適宜測定している。管接合部の融着検査、水圧試験等は適切に実施されており、品質管理は適切に実施されている。

#### ④安全管理・環境管理

安全管理は、日常管理を適切に行っている。現在まで無事故で施工が行われており、適切な管理が行われていると推測される。また、工事は全線通行止めを実施して行っているが、生活道路での施工のため、通勤・通学の時間に配慮して、交通誘導員を配置して安全管理に努めている。既設管との切替え時には、2週間前から近隣住民に周知し、水道使用量の少ない時間帯に施工を行っている。

労災保険成立票が現場掲示されているが、保険成立年月日、保険番号等が記載されていない。正規の成立票を適切に掲示するよう指導されたい。

### 3) 監理監督

施工指導、地元対策等を適切に実施している。

## (6) 付加価値を向上させる提案

特になし

## (7) 現場調査

現場施工は完了しており、機能を十分果たしていると判断される。



管布設替区間 (1)



管布設替区間 (2)